

平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

兵庫県

行 事 名 称	公智神社警防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	平成30年1月24日（水）10:00～11:00
実 施 場 所	市指定重文公智神社神輿殿ほか（兵庫県西宮市山口町下山口3丁目14番30号）
主 催 者	公智神社、西宮市消防局、西宮市消防団（山口地区消防団）、西宮市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

10時頃、公智神社の社務所1階台所から出火、連日の乾燥状態と折からの強風に煽られ、本殿、社叢（市指定天然記念物）へと延焼拡大しようとしている。また、初期消火中に関係者1名が負傷し、1名が逃げ遅れていると想定。放水訓練終了後、講評を実施。

訓練の内容

公智神社宮司による火災発見、通報、初期消火、参拝者の避難誘導訓練を実施。消防局及び消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

公智神社関係者（5名）：119番通報、初期消火、参拝者の避難誘導

西宮市消防団（11名）：放水訓練、講評

西宮市消防局（34名）：全体統括、放水訓練、人命救助訓練、講評

西宮市教育委員会（2名）：現場立会い、講評

特に工夫した点

脆弱な文化財（建造物）に対しては噴霧放水を想定した模擬訓練を行うなど、文化財の性質を考慮した放水訓練を実施した。また今回は、神社の代表役員交代後、初めて実施する警防訓練であった。

問題点・課題

地域住民の警防訓練への関わりが希薄である。積極的な広報による情報の周知など、警防訓練を地域住民の文化財防災意識高揚の機会とすることが課題である。

その他

西宮市では、毎年文化財防火デーにあわせて消防局主催の警防訓練を実施している。訓練の実施場所を年ごとに変更し、寺社を中心とした重要文化財所在地を巡回することで、地元消防団や文化財所有者、所管の消防分署等が定期的に消火訓練を実施する機会を設け、文化財の防災強化を図っている。

訓練風景



本殿への放水訓練（左）、公智神社神輿殿への模擬放水訓練（右）